

常任委員会便り 第94号

第4回常任委員会報告 平成29年9月23日(土) 10:00~

坂巻PTA会長挨拶

先々週はいい天気の中、赤組と青組の得点も拮抗して盛り上がり、素晴らしい体育祭になりました。先生方、PTA役員の皆様のご協力を本当にありがとうございました。本日はぜひ、来年度に繋がるようなご意見をいただきたいと思います。また10月には、東葛駅伝がありますので、今年も応援をよろしくお願いいたします。

ほとんどの3年生は部活を引退し、いよいよ受験に向けて、一生懸命勉強をする時期に入ってきているかと思えます。また次回のPTA常任委員会は、来年2月になりますので、お気づきのことがあれば、本日お話いただければと思います。それから11月に毎年恒例のPTA研修会を行いますので、皆様、ぜひご参加をお願いいたします。

交通関係ですが、駅北口側のグランレジデンス前の交差点では、毎年のように事故が起きています。そこで市や警察に確認したら、「スクランブル交差点」には出来ないけれど、「歩車分離式信号機」の設置のみなら可能ということでした。そこで四小、根戸小のPTA会長さんと相談をして、PTAの連名で、その安全対策のお願いを警察の方に出す予定です。また通学路などでも、危険だと言われている場所について、改善などのご意見があれば、寄せていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

田中校長先生挨拶

体育祭では、皆様ご協力をいただき、ありがとうございました。

先日9月14日に、学区審議会(学区の線引きを検討する会議)がありました。現状のままでいくと、白山中は32年度以降、各学年8学級と特別支援が5学級の、計29学級という計算です。現在白山中では、この視聴覚室や学年で使用している教室も含めて26教室ですが、来年度は全て使用することになります。そこで、4階のランチルーム(卓球場)を分割して、会議の出来る場所にしようということで、市の教育委員会にお願いして検討しているところです。また、そのうち四小が、特に受け入れ困難になるということで、年末頃には学区変更の話も出てくるのではないかと思います。学区審議会の内容は公開されますので、市役所ホームページをご覧ください。

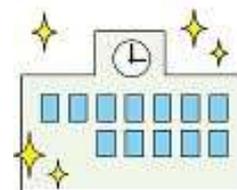
それから校内に、「適応教室」を作りました。本校は、長欠対策推進校に指定され、教員も1人加配されています。教室に出て行けない子どもたちの為に、学校の中に居場所を提供して、一番居心地のいい場所にしていきたいと考えています。市にも「ヤング手賀沼」という教室が中里にあります。通いやすい学校の中に作ろうということです。白山中では、今年の夏休みに資料室Cを片付け、机と椅子を入れたので、10月の後期日課あたりから、運営開始をしていく計画です。様々な問題で、学級が安全地帯にならない子どもたちのために、家庭以外にも一歩目を踏み出せる場所、不安になったら戻れる場所を校内に確保し、そこから一歩でも踏み出せるようにと願っています。保護者の皆さん同士でもぜひ声をかけていただいて、周知してもらえればと思います。

1、2年生の新チームは、東葛大会でのサッカー部の優勝など、各部活ともとても頑張っています。活動先でも挨拶など、とてもいい評価をいただいています。3年生は、きちんと受験モードに入ってきて、毎月の実力テストでは、右方上がりに成績が上がっています。受験は団体戦です。置いて行かれる生徒がいないように頑張っていますので、何かありましたらお声がけください。

議 題

(1) 体育祭について(反省・感想)

- ① 本部役員より 警備のご協力を本当にありがとうございました。



- ・駐輪場等へ向かう時、白山中と四小の位置関係を知らない人がいるので、来年度はPTAの手紙に地図を載せる。
- ・警備時間と実際の混雑時間にズレがあったので、再検討する。また警備内容について、もう少し具体的に指示をする。
- ・学校正門横のお宅から毎年敷地内に自転車を停める人がいるという話があり、自転車を1台撤去した。
- ・PTA競技に、小学生の参加が例年に比べて多かったので、危険はないか再検討する。

- ② **学級委員より** 本部の隣の常任委員用の観覧席がとても見やすかったです。委員をやって本当によかったと思ったので、来年もぜひお願いしたいと思います。
- ③ **教頭先生より** 今年度は、グラウンドの場所取りの時間について、保護者の方から問い合わせが多数あったため、天候判断をする6時からというメールを流しました。かなり早くから校門前に並んでいる方が多数いましたので、近隣へのご迷惑という観点から、また検討していただきたいと思います。

(2) 第71回東葛駅伝大会 協力・応援について

10月21日(土)に第71回東葛駅伝大会が行われます。今年は、野田市総合公園陸上競技場をスタートし、松戸市民劇場前がゴールとなり、10区間を選手たちが走り抜けます。東葛地区71校が参加するという歴史のある大会です。選手たちの頑張っている姿や、熱の入った子どもたちの応援を間近に見ることができますので、お時間に余裕のある方はぜひ、応援に参加してみてください。

(3) PTA研修会について

11月19日(日)に開催します。行先は山梨への日帰り観光で、参加申し込み受付が9月25日(月)迄です。尚、詳細につきましては、参加申し込みをいただいた方へ、後日お手紙を配布しますので、よろしく申し上げます。

(4) 広報より

「はくさん」115号の発行に向けて、現在活動中です。子どもたちが体育祭で活躍している写真を、たくさん掲載する予定です。どうぞ楽しみにお待ちください。

(5) 選考委員会について

来年度の「PTA本部役員の推薦」へのご協力ありがとうございました。役員選出に向けて現在活動中です。

(6) 年末パトロールについて

12月9日(土)にPTA年末パトロールを行います。常任委員の皆さんには、年末のお忙しい中申し訳ありませんが、参加していただきたいと思います。集合場所は、我孫子駅北口・我孫子駅南口・白山中学校正門の3か所、集合時間は17時45分集合予定です。集合場所については希望を取りますので、10月21日に配布予定のお手紙をご確認ください。またその後に懇親会を予定しております。この出欠のお手紙が同時に出ますので、担任の先生へご提出をお願いいたします。

(7) 来年度の学級委員決めについて

学級委員決めについて、前回の常任委員会から本日まで、皆様のご意見をいただきましたので、「学級委員選出のお願い」の手紙を配布する件について、次のように方針をまとめました。

<目的>・学級委員を引き受けたくないがために、学校と保護者が連携を図るのに大切な学級懇談会に欠席してしまう傾向をなくす。

- ・欠席者が多いがゆえに、少数の出席者の中から委員を選出するという不平等さをなくす。
- ・事情があり委員をすることがどうしても困難な保護者が、無理に役員になることを防ぐ。

<内容>・学級委員の引き受けについての手紙を事前に配布して、全員の意思を確認する。

- ・学級委員の選出方法や仕事内容について、周知させる。

<配布・役員決定>2年生は前年度末、1年生は2年生になってから配布回収して、無条件に引き受けていただけると保護者がいた場合は、学級懇談会当日に発表する。もしなければ、特別に事情がある保護者を除いて、当日の欠席者も含めた抽選を学級懇談会で行い、その場で決定する。

学校から

(1) 各学年近況報告 《1学年》 (石川先生 1学年主任)

体育祭の昼食明け、応援席で子どもたちを迎え入れたら、皆にこにこ顔で、お家の人たちと楽しく話をしてきた様子で、私も温かい気持ちになりました。応援団を7月に決めた時には、沢山の子どもたちが立候補しました。オーディションの結果、選出されたメンバーなので、皆をまとめようとたいへん意欲的に取り組み、終わった時には、大きな達成感を感じることが出来たようです。

来週の生徒会選挙ですが、1年生は副会長、書記、会計の3枠のところ5人が立候補していて、本当に意欲的な学年だと感じています。副会長と会計が決戦投票となっています。

学習面では、学習委員会が「授業中の私語ゼロ」を目指そうということで、活動を始めています。

9月1日に欠席した生徒が何人かいたのですが、「宿題が終わっていない」という理由で登校を渋った生徒もいたようです。昔と変わってきて、ちょっと気持ちが繊細な子どもが多いのかと思います。私たちの指導の仕方も、事前に約束を作るなど、工夫が必要になってくると考えています。

最後に合唱コンクールに向けてですが、1年生は昨日、全クラスの自由曲が決まりました。課題曲は「夢の世界を」の1コーラスです。これから練習が始まりますが、子どもたちの意欲を高めながら、いい形で学級を作り上げる機会にしていきたいと思っています。

《2学年》 (松田先生 2学年主任)

夏休みの職場体験ですが、子どもたちも概ねしっかりと学んできました。私たちも挨拶に行きましたが、よくやっているよという言葉が第一声でした。体験後のお礼状を書き上げ、お店の方に渡したあと、今度は10月16日(月)5校時に1年生を招いて、職場体験学習のプレゼンテーションを行います。これは「あびカリキュラム」の一環としてやりますので、もしよかったらお子様の発表をご覧いただければと思います。詳細が決まりましたらお知らせする予定ですので、よろしくをお願いします。

生徒会の選挙ですが、今週木曜日に立会演説会を行い、金曜日に決定します。現在5名の立候補者が出て、副会長の席だけが決戦投票となっています。また同時進行で、全校委員長の方も募集をしている状況です。こちらは、生徒会本部役員と先生の協議等の上で決定していくという形になっておりますので、ご承知おきください。

また部活動では新人戦がいよいよ始まり、東葛駅伝は、2年生からも出場できるのではないかと現在の状況です。結果も大事ですが、それまでの過程を大事にしながら、子どもたちの成長を見届けて行きたいと考えております。

11月は合唱コンクール、課題曲が1コーラス、自由曲も決まりました。概ねレベルの高い曲が少し多いかと思いますが、2か月の練習期間を経て頑張りたいと思いますので、是非いらしていただければと思います。

また価値観の形成が進んでくる思春期ということで、今まではただ言われたように行動していたことも、子どもの主張が出てきたように感じています。そこでこちらは少し我慢して、子どもの意見を聞きながら、大人の常識や、これから出ていく社会のルールことも教えつつ、指導していかなければいけない時期になってきたと思います。ご家庭のほうでも何かありましたら、そのように話していただくと、いい成長に繋げるかと思います。またお困りのことがあれば、ご相談ください。

学習に関してですが、まだ忘れ物が全然減らないという状況です。プリントや宿題もかなり頻繁にありますので、ご家庭でも、ひと声かけていただければと思います。これから白山中の代表として頑張っていく2年生ですが、保護者の方のサポートがあってのことだと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

《3学年》 (永沢先生 3学年主任)

3年生は、会長、実行委員長を中心に、最後の、また自分たちで作りに行く体育祭ということで、動いてまいりました。この体育祭を通して、大きく成長することが出来ました。準備の段階から練習、当日の競技まで、実行委員と応援団の指示や声掛けで、子どもたちが主体となり、全員が主役という意識のもと体育祭を作り上げました。棒倒しでは、実行委員と応援団長が夏休みに時間をかけて話し合い、すれ違う時には一切接触しない、ノータ

ッチゾーンのルールを考え出し、練習の段階から違反なく、子どもたちの力を大きく発揮してくれたと思います。また吹奏楽部も3年生は最後でしたが、体育祭の生演奏については、子どもたちの作文の中でも、最後のドラムロールや、ファンファーレなどへの感動が書いてありました。暑い中、頑張っって練習してきて、本当に素晴らしい演奏だったと思います。

3学年の目標が「繋」ということでしたが、この体育祭を通して、かなり近づいたと思っています。この力を今度は進路の方に向けていきたいと思っています。班での模擬面接の練習を始め、また校長面接もやる予定ですので、受験も、団体戦で乗り越えて行きたいと思っています。先日の実力テストも県の平均点より24点くらい上で、伸びてきていますので、ぜひ励ましの言葉をかけていただきたいと思います。

合唱コンクールも、最後になりますので、3年生らしい歌声を作って行けるように、教師の方も支えていきたいと思っています。職員一同、気を引き締め一丸となって頑張りますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

(2) 学校からの報告 《長田教頭先生》

夏休み後半には、メールでご協力をお願いする場面もありましたが、無事に解決することができ、ありがとうございました。

今年の体育祭は、喫煙所を設けませんでした、大きなトラブルもなく、パトロール等のご協力も本当にありがとうございました。

総体の結果は学年便りでお知らせしましたが、生徒たちの活躍が素晴らしく、また文化面でも、フルートで全国大会1位になった生徒や、読書感想文でも白山中の生徒が上位を占めていると聞いています。また科学作品も県の代表に白山中の生徒が選ばれたとのこと。これからもまだ、東葛駅伝などがありますので、また応援をよろしくお願いいたします。

それから第1理科室が机、椅子を含めて新しくなりました。市では、毎年1校ずつ直していくとの計画ですが、白山中は早めに直していただきました。また体育館のどん帳についても、33年度に綺麗になるという連絡が来ています。校長からの話にもあったように、クラス増で教室が全部使われてしまい、いろいろな部屋が足りなくなっています。もっとボランティアの方など、いろいろな方が学校で活動していただくという考えがあるのですが、実際に集まって話し合いをしたりする場所がないので、資料室Aの改造など、何か方法はないかと思案しています。何か良い案がありましたら声をおかけください。

《山本先生 教務主任》

各学年の報告では、充実ぶりがよく伝わってきて、教務という立場でたいへん嬉しく思います。

先ほど校長の方から適応教室ということがありました。私は静岡出身で、田舎の方に知人がいまして、その息子さんが大学2年生の時に引きこもりに入ってから10年以上となり、今年30歳を過ぎます。その知人と、いろいろ話をしたところ、小中学校の時にいろいろな経験をさせればよかったと言っていました。つまり人との接し方、コミュニケーション能力を育てられなかった、親として、守り過ぎてしまったのではないかと言っていました。これは、単に外に出して放っておくということではなく、いろいろな人間との関わりの中で、子どもが育っていくということが大事だったのではないかと感じました。

中学校3年間の中でも、そのような子どもがいます。例えば特別支援関係の学級の、ある子どもと関わることがありました。1年生の時には、学級の方には行けなかったけれど、特別支援の教室には来ていたということ話を話し、直接対話をしてみると、この子は高校に行ったら大丈夫だろうという印象を受けました。いろいろな話をすることで、大人的な感覚が身について来て、考えがすごくしっかりしてきていると感じました。

また高校生の担任をした時の話ですが、中学校の時に全欠だったと言う生徒が、高校は皆勤で卒業していきました。このように頑張れる力は、いつでも着実につけていけるものだと思います。保護者と学校、また学校の中の仲間たちなど、たくさんの人と接していくことが、子どもの育ちの上でとても大切だと思いますので、今後ともまたいろいろな情報をいただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。